



◀▲さつき沼に鯉のぼりを掲げる『こいのぼりをさつき沼に泳がせる会』（小笠原邦定会長）のメンバー。2本のロープを渡し、町内から寄付された約100本の鯉のぼりを泳がせた。数がそろえば、もう1本ロープを増やしたいとのこと（4月28日）

不要になった鯉のぼりを募集しています。  
ご連絡は産業課まで ☎55-4495



▲館野公園で行われた魚のつかみ取りにはたくさんのお子どもたちが参加。スタートの合図とともに、ニジマスとうなぎを入れた特設の水槽に飛び込んだ子どもたちは、全身びしょ濡れになりながら夢中で魚を追いまわっていた（4月29日、5月6日）



▲桜の下で行われたクラシックカーミーティングは六戸クラシックカー倶楽部（苫米地和夫代表）が主催。県内はもとより、岩手や秋田からも車仲間が参加し、66台の自慢の名車・愛車が並んだ（5月3日）



## ろくのへ春まつり

4月27日、熊野神社で行われた山開き（安全祈願祭）を皮切りに、「ろくのへ春まつり」がスタート。期間中は館野公園で魚のつかみ取りやクラシックカーミーティング、奥入瀬川河川敷では馬力大会などのイベントが行われ、5月6日の最終日まで約1万人の人が訪れました。園内では、ゆっくりと散歩を楽しむ人のどかに釣りを楽しむ人、家族や友人たちとにぎやかにバーベキューを楽しむ人など、思い思いに「お花見」を楽しんでいました。

## わが家のたから



—南町(二)—

れおん  
山 玲音 くん (3歳)

父 賢悦さん 母 真由美さん

楽しい毎日をいつもありがとう  
(おとうさん、おかあさんより)



▲第34回東北馬力六戸大会（六戸ばんえい会主催）には、県内をはじめ、岩手、秋田、山形などから34頭が出場。馬齢や実績に応じたクラスごとに最大260貫の（975kg）重りを乗せたそりを引いて、奥入瀬川河川敷に設けられた大小2つの坂を含む直線約150mのコースを駆け抜ける。コース終盤にある約3.5mの坂がレースの最も見所で、馬と騎手が一体となって力をふりしぼる姿に、観客からも掛け声が飛んでいた（5月5日）